

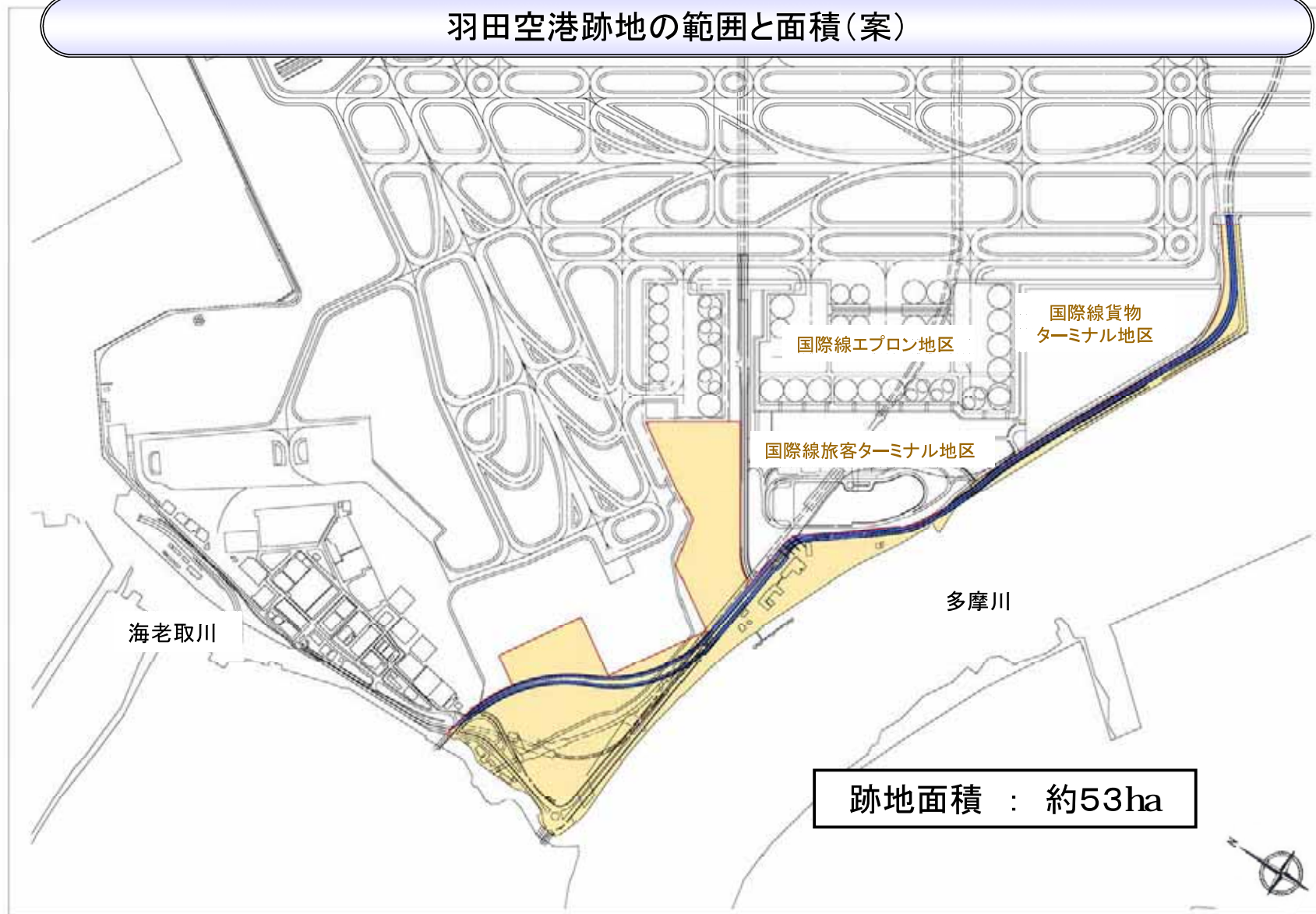
## 第 47 回 羽田空港移転問題協議会 概要

1. 「羽田空港跡地の範囲と面積」について合意した。 (別添資料 1)
2. 羽田空港跡地利用の検討に当たっての基本的な視点として『空港を活かす』『空港と連携する』『周辺と調和する』を 3 本柱とすることを確認した。 (別添資料 2)
3. 羽田空港跡地に関する今後の進め方として、跡地に関する国土交通省、東京都、大田区が共同して羽田空港跡地に関する調査を行うこととし、平成 19 年度に「跡地利用基本計画」(案)の取りまとめを目指すことを確認した。 (別添資料 3)
4. 「跡地利用基本計画」(案)の検討に当たっては、有識者からなる委員会を設置して指導助言をいただくことを合意した。

### 【協議会委員】

国土交通省	航空局飛行場部長	小野 芳清
東京都	都市整備局理事 (航空政策担当)	河島 均
大田区	助役	江頭 博彦
品川区	助役	本間 敏明
	(代理出席 まちづくり事業部長	福田 法光 )

羽田空港跡地の範囲と面積(案)



## 羽田空港跡地利用の検討に当たっての基本的な視点

### 1. 空港を活かす

国内各地に加え世界とつながる特性を活用し、人・モノ・情報の活発な交流を促進し、多彩な文化・娯楽・商業施設に人が集まり、憩い、楽しみ、高度な充足感が得られる交流拠点を創出する。

### 2. 空港と連携する

世界でも有数の規模を誇る羽田空港の機能を十二分に発揮させるため、空港に密接な関連がある施設、空港へのアクセス交通等を充実し、さらなる空港の発展と活用を図る。

### 3. 周辺と調和する

市街地に隣接した水と緑のオープンスペースが開け、環境との共生を目指した潤いと安らぎのある空間形成を図り、市街地と空港の協調・調和を図る。

羽田空港跡地に関する今後の進め方

